

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

内装業における、施工発生ロスを削減し、建設資材製作時に発生するCO2の削減、廃棄時に発生するCO2の削減を実施。またウルトラファインバブル生成ノズルを販売する事により、節水を可能にする事により、熊本の水を守ると共に、ウルトラファインバブルの効果により下水道の負荷を軽減し、持続可能な社会づくりに貢献する。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に ☒)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	正しい施工図を作成し、内装施工時に発生する、材料ロスを削減する事により、産業廃棄物削減する。	材料ロス30%削減 2024年10%→2025年20%→2026年25%→2027年30%削減を目指す。
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	材料ロスを削減する事により、削減できる資金を元に、建設現場の職人を育成し、問題視されている建設現場の人手不足の解消を目指す。	直接雇用職人3人増員 2025年1人雇用→2027年3人雇用を目指す。
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	地域の課題解決や経済活性化に向けた取り組みを自社コンテンツで伝える。	自社でYOUTUBEチャンネルを立ち上げ、毎月一回程度放送する。

<パートナーシップ>

ステークホルダーと共に、環境に配慮した車両を導入するなどし、阿蘇の野焼きボランティア活動へ参加し熊本の環境保全などを進めて行く。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。